

1. 評価結果概要表

平成 21年 4月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	2070501180		
法人名	営利法人 三菱電機ライフサービス株式会社		
事業所名	グループホーム北方の郷		
所在地	長野県飯田市北方1558 (電話) 0265 - 28 - 2551		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年4月12日	評価確定日	平成21年4月30日

【情報提供票より】(21年 3月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤13人	非常勤8人 常勤換算16.8人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り		
	2 階建ての	1・2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷 金	なし		
保証金の有無 (入居一時金含む)	なし	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	250 円	昼食 400 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要 (3月 1日 現在)

利用者人数	16 名	男性	5 名	女性	12 名	
要介護1	2名	要介護2	4名			
要介護3	6名	要介護4	3名			
要介護5	1名	要支援2				
年齢	平均	87.43 歳	最低	80 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	横田医院・飯田病院・田口歯科クリニック
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム北方の郷は、企業の社会貢献のひとつとして、3年前に開設し静かな環境の新興住宅地にある2ユニットのグループホームである。玄関前にはベンチを置き、季節の植物を植えゆったりとした空間を醸し出している。職員の接し方も自然であり、暮している利用者の表情も穏やかである。定期的な訪問看護もあり、適切な医療も受けられ医療面も安心感がある。開設時の理念を見直したり、サービス向上のためにセンター方式を取り組むなど、職員全員が気持ちを一つにしてホームの新たな展開を図ろうとしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の主な課題は、1、地域密着型サービスとしての理念の検討・2、地域との付き合い・3、運営への家族等の意見の反映・4、終末期への方針の共有・5、食事を楽しむ支援・6、日常的な外出等である。全てについて、取組の成果は見られるが、引き続き向上を目指して改善を図っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は外部評価を実施する意義を理解し、改善への取組意欲は高い。今回は全員で自己評価は出来なかったが、職員間で意思統一を図りながら取組もうとしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的開催し、区長、民生委員、家族代表、高齢者クラブ代表、地域包括支援センター等が出席し、現状報告、防災訓練やホームの行事に参加していただいた。メンバーからは、利用者の生活ぶりや介護支援の内容等について質問が出される等、率直な意見をいただき、サービス向上に活かすよう努めている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>利用者の暮らしぶりは、電話や来訪時にお知らせするように努めている。ホームとしては今後、担当者等を決め定期的にホーム便りを発行するなどして、個々の家族とのきめ細かなやり取りが出来るよう検討している。また、利用者や家族等からの意見や要望を引き出すよう、ご意見箱を設置しているが意見は少ない。そのため家族の来訪時は、必ず話し合う時間を積極的に作っている。出された意見等は、ミーティング時に事例として検討し運営に活かす努力をしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームとしては、地域とのつながりを重視しているが、利用者の身体的な問題もあり、地域等への参加は困難であるが、子供達のホームへの訪問や地域との防災の取組連携が出来ている。区長や民生委員との情報交換を行いながら、地域との交流に前向きに取り組む姿勢を持っている。</p>

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初の「一人ひとりの思いを尊重し寄り添って」…の理念を共有してきた。開設から3年を経て地域密着サービスとして何が大切かを職員間で話し合い、理念を見直すよう検討している。		地域密着型サービスの意義や役割を考えながら、なるべく平易な言葉で、このグループホームとしての理念を職員と共に作りあげていくことを期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々、理念を確認し合い、ケアに活かすよう努めている。事例が発生した時には、ケアの見直しを行い話し合い、確認し合って取り組んでいる。理念は、玄関の入り口に掲示してある。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者の身体的なこともあり、地域の行事等への参加は困難であるが、子供達のホームへの訪問や地域との防災の取組連携が出来ている。区長や民生委員との情報交換を行いながら地域との交流に前向きに取り組む姿勢を持っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価を実施する意義を良く理解し改善への取組意欲は高い。職員は全員で自己評価を行うことが出来なかった。		自己評価は全職員が係りながら、個々に事業所の自己評価を行うことにより改善課題を見出し、具体的な改善への取組をされサービスの質の確保に活かされることを期待する。

飯田ケアハートガーデングループホーム北方の郷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、現状報告、防災訓練やホームの行事等にも参加して運営推進会議メンバーから率直な意見をもらい、これをサービス向上に具体的に活かすよう努力をしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議のメンバーとして、地域包括センターから参加している。困難事例等は、行政の担当者と相談し課題解決に向けた話し合いや対応に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の暮らしぶり等は、電話等でお知らせしている。又家族が来訪の折にはその都度利用者の状況をお知らせするように努めている。金銭報告等は、時々報告している状況である。ホームとしては今後、担当者等を決め定期的にホーム便りを発行していくように検討している。</p>		<p>個々の家族等のきめ細かい情報のやり取りが、より良いサービスの鍵となる。そのため定期的な報告は重要である。ホームとしても今後、家族との報告を積極的に行うよう検討しているので、あらゆる場面で家族への情報提供を行うことを期待する。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族等からの意見や要望を引き出すように努めている。意見を言うことをためらう家族等の心情を察しご意見箱を設置しているが、意見は少ない。そのため家族の来訪時には、必ず話し合う時間を作っている。出された意見等は、ミーティング時に事例として検討し運営に活かす努力をしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動等があった場合は、馴染みの職員が対応する事が重要と考え、顔馴染みの職員と共にケアを心がけ利用者のダメージを最小限にしている。</p>		

飯田ケアハートガーデングループホーム北方の郷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、職員教育の重要性を認識し、階層別の社内研修や外部研修も実施し、働きながら技術や知識を習得出来る様に支援している。また、外部研修に参加した場合は、内部への伝達研修も行い、知識の共有を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>各種団体へ加入し、研修会や勉強会に参加して、職場内の課題の解決や、サービスの向上に役立させている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>可能な限り、事前に数回来所頂き一緒にお茶を飲んで話しを出来る機会を作っている。止む終えず急に利用になった場合は、本人の嗜好や生活層等を家族から聞き、本人の声に耳を傾けたりして、ホームでの生活に反映できるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>共同生活の良さを活かし、時間に追われないゆとりの生活の中で、一緒に出来る事は行い、その中でお互いに信頼関係を築いている。「あやとりってどうやってやるの?」「これが、一人あやとりな」と一緒に過ごし、学び、支えあう中で本人を知ろうとする姿勢が伺われる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員全員が、利用者一人ひとりの思いや希望を把握できるようセンター方式を活用している。その一つとして、思いの把握が困難な利用者の場合、家族による「私の家族シート記入」をして、本人の視点に立って話し合いを行い、思いや意向を把握するよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員が、センター方式に取組ながらカンファレンスを行ない、利用者や職員の気づきやアイデアを出し合い、一人ひとりの生活を反映した介護計画に繋げている。今後、更に家族や関係者の意見等も反映できるよう積極的な働きかけの必要性を検討している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者からは、お茶を飲みながら要望等を聴き、現状を把握しミニカンファレンスを行い、計画の見直しを行っている。</p>		<p>介護計画は、本人や関係者が意見等を出し合い、本人がより良い生活ができるよう、その結果を介護計画として作成する事が求められる。計画は、アセスメントとモニタリングを繰り返しながら本人や、家族の要望や変化に応じて見直しが必要である。ホームとしてもこの必要性を理解しているので、今後の計画作成見直しに期待する。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族の状況に応じて、かかりつけ医の受診や入退院の送迎等の援助を行っている。又、外泊の支援などニーズに応じて柔軟な支援を行っている。</p>		

飯田ケアハートガーデングループホーム北方の郷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>馴染みのかかりつけ医を重視し、通院の介助方法や受診に関する情報を、家族と話し合いを行いながら支援している。又、定期的な訪問診療もあり、適切な医療が受けられる体制ある。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者の状況に応じマニュアルに沿って、その都度主治医、訪問看護ステーションの協力を得ながら、情報は職員間で共有している。利用者一人ひとりに対しての話し合いが出来ていないので、今後の対応を検討している。</p>		<p>利用者全員の意向を踏まえて、関係者が繰り返し話し合い、支援チームで率直に話し合い、家族や医療関係機関等と連携を図っていく事が重要である。さらに方針を共有し、チームで支援していく事を期待する。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>管理者は職員に対して、利用者に対する言葉使いや接し方について、誇りやプライバシーを損なう事のないように、職員の気づきを促すように、接遇マナー研修を実施し個人情報教育を徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの過ごし方を尊重するように心がけている。利用者にとって寄り添っていくか職員同士カンファレンスを通じて支援し柔軟に対応している。</p>		

飯田ケアハートガーデングループホーム北方の郷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員との関係作りの点からも、メニューは普段の会話の中から出された希望も取り入れている。お絞りを準備したり、料理の下ごしらえのお手伝い等それぞれ出来る事をしている。食事は利用者、職員と一緒に頂き、暮らしの全体の中の重要な位置付けとなっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームとして利用者の入浴時間は、およそ決まっているが、利用者が希望する時間に入浴出来るようになっている。入浴を拒否する利用者には、温泉入浴剤で温泉気分になってもらい等、くつろいだ気分で入浴を楽しむ工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は、食事の用意、レクリエーションの合図取り等利用者一人ひとりに合わせて、出来る力や潜在している記憶を最大限活かして、生活できるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	馴染みの桜木のお花見や家へ立ち寄ったり、馴染みのお饅頭を買いに行ったり、又外出が困難な場合は、近所の子供達が遊んでいる所へ行ったりと、外出の支援を行っている。今後、重度の利用者も、本人が戸外で生き活きと過ごせる工夫が課題となっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室をはじめ、玄関等は鍵をかけないケアを行っている。外出しそうな利用者には、職員が何気なくついて行き、一緒に散歩し寄り添うようにしている。ご近所へは区長さんに依頼し協力を得ている。		

飯田ケアハートガーデングループホーム北方の郷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的に利用者、区長、地主等職員一緒に訓練を実施し、夜間時の災害イメージを行いマニュアルの読みあいも行っている。災害に備えて必要な備品も用意してある。近隣住民の理解を得て協力体制を明確にしている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養摂取量、水分量の把握は、チェック表などで、摂取と排泄を確認し記載している。栄養士や訪問看護の指導により学習を行い、一人ひとりの食生活の支援を行うよう努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地良く過ごせるよう、季節の草花を飾り、ホールにはゆっくりテレビを鑑賞できるような空間を作り、玄関前には、ベンチを設置し、戸外の空気を感じられるように工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、利用者の好みや使い慣れたもので部屋作りがされ居心地良くしている。どの部屋も窓が広く、家並みが見え、季節を感じる事が出来る。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。